

競技注意事項および大会規定

1. 本大会は、2021年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。
2. 招集の手順は以下の通りとする。
 - ①トラック競技に出場する競技者は、招集完了時刻までに招集所で競技者係の点呼を受ける。
その時にシューズの点検も実施するので、競技で履くシューズを持参すること。その際、800m
1500m・3000mの出場者は、腰ナンバーを受け取り、右側腰の後ろへ取り付ける。
 - ②トラック競技の最終コールは、競技開始時刻10分前に各競技のスタート付近で行う。
 - ③フィールド競技に出場する競技者は、競技開始時刻の10分前に現地で点呼を受ける。
 - ④四種競技については、第1種目のみ招集所で別記競技日程に従い、競技者係の点呼を受ける。
2種目目以降の点呼は、現地で競技開始時刻10分前に点呼を受ける。
 - ⑤フィールド競技は、競技開始時刻40分前より、現地に入り、練習可能とする。
 - ⑥代理による招集の確認は原則認めない。
 - ⑦招集時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。
 - ⑧やむをえず出場種目を欠場する場合には、競技開始時刻30分前までに情報処理室へ欠場届を提出する。用紙はHPからダウンロードして使用すること。(受付にも用意する。)
3. アスリートビブスは、胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する者は片面だけでもよい。
800m・1500m・3000mの競技出場者は、腰ナンバーカードを右腰につける。
競技終了後、競技者係に返却すること。(アスリートビブスのない選手は出場できない)
4. 走路順・試技順はプログラム記載順とする。
5. トラック競技は4×100mR以外すべてタイムレース決勝とする。
4×100mRのみ予選決勝とし、上位8名(チーム)が決勝に進出できる。
同タイム多数でレーン不足の場合は、抽選とする。
6. 走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。
・走高跳・・・男子1m20、女子1m10より開始し、5cmずつ上げる。
7. 走幅跳はA、B2つのピットを使用する。また、スタンド側をAピットとする。
8. 走幅跳・砲丸投は人数が多いため計測ラインを設ける。計測ラインは、当日のコンディション等により、審判長の判断で変更する場合がある。

男子	走幅跳	4m60	砲丸投	6m00
女子	走幅跳	3m80	砲丸投	6m50
9. リレーに出場する学校は、オーダー用紙に必要事項を記入し、予選は8時50分までに役員係へ、決勝は、12時30分までに情報処理室に顧問が提出すること。
10. スパイクピンは全天候用で、長さは9mm以内(走高跳12mm以内)とし、スパイクは先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。(競技規則TR5. 4)なお、スパイクのピンの数は11本以内とする。(競技規則TR5. 3)
11. 競で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とするので、トラック競技は招集所で確認してもらうこと。

種目	シューズの底の厚さ
800m未満の競技(ハードル含む)	20mm以内
800m以上の競技	25mm以内
跳躍・投擲競技	20mm以内(前部が踵より厚くなってはならない)

※フィールド競技については計測しないが、国内でのみ通用する記録として取り扱う。(日本陸連の通達より)
12. 当日の選手変更は認めない。
13. 天候、その他の都合で競技開始時間に変更のある場合は、放送により連絡する。

14. 参加者の傷病については、応急処置以外は責任を負わない。
15. レーンを使用する競技については、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
16. ウォームアップについて
 - ・サブグラウンドは使用できない。メインの競技場内でアップすること。
 - ・トラックを使用する場合(～9:40)
 - 1・2レーン……………ジョッグ・長距離周回練習
 - ホームストレート3～7レーン……スタート練習
 - ホームストレート8～9レーン……………ハードル練習
 - バックストレート 3～5レーン………流し練習
 - 6～9レーン………リレー練習
 - ・雨天時のみ、雨天練習場を開けることがある。ただし、事故防止のため、時間を限定し、競技役員が付いた上での開放とする。時間は放送で連絡する。
 - ・集団でのアップはできない。
17. 競技場でのマナーについて
 - ・競技場・スタンドなど施設を大切に使うこと。
 - ・応援及び付き添いの生徒は、競技場内には入らないこと。(スタンドで行う)
 - ・弁当・空き缶等の片付けは、各校で責任を持って行うこと。
 - リレー競技に使用したテープについても同様です。
 - ・各自、持ち物の管理には万全を期すこと。(貴重品、自転車の鍵等)
 - ・レース後の選手は、ゴール付近からすみやかに移動すること。
 - ・大会に参加する全ての人が気持ちよく過ごせるよう、競技中や観戦のマナーを守ること。
 - ・声を出しての応援、集団での応援は禁止とする。
18. 県総体出場資格について
 - ・各種目21位までの個人、チームに県大会への出場資格を与える。
 - (リレー競技は、予選タイムで決定)
 - ・四種競技の県総体出場資格は、10位以内または、標準記録(男子1250点、女子1315点)突破者とする。
 - ただし、走幅跳・砲丸投については計測ラインを超えた上位21位に出場資格を与える。
19. その他
 - ・スタートの合図はイングリッシュ・コマンドとする。「オン・ユア・マークス」、「セット」)
 - ・不正スタートをした競技者は1回目で失格となる(TR16.7)。
 - ・出場している種目において「黄」カード2枚で「赤」カードとなり、その該当種目で失格とする。
 - ・四種競技においては、不正スタートは1回のみとし、その後の不正スタートした競技者はすべて失格とする。
 - ・各種目で3位以内まで賞状を授与する。
 - ・生徒役員は、最後まで各校に割り当てられた仕事を行うこと。
 - 生徒役員の集合はありません。担当校で分担をすること。
 - ・応援スタンドへの入場開始時刻は7:40の予定とする。
 - ・自由広場の駐車場は、パスカードのある役員のみ駐車可能です。
 - 選手招集やウォーミングアップなど各担当で工夫し、競技に支障のないようにしてください。
 - ・選手が集中した状態でスタートができるように、「オンユアマークス」の声がかかったら静かにすること。
 - ・本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、傷害保険の加入範囲内及び現場での応急処置以外の責任は一切負わない。なお、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を負わない。